

# 真・魅力通信



保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

## 第2回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その⑤

～取組の真化を目指して～



心づくり部



具体的な取組は、○○！  
△△の成長につながっている。

前号に引き続き、6月7日（水）に行われた袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会の分散会の様子を取り上げます。「心づくり部」が袋井あやぐも学園カリキュラムをもとに「各園校で具体的にどのように取り組んでいくのか」協議しました。

<心づくり部より>

- ・（袋井中の）公開授業ではどの授業でも対話が行われていた。
- ・3才児にも「今、聞くときだよ」と繰り返し言っている。  
保護者にも、園児の話を聞いてもらうよう伝えている。

- 学習カードに「家庭の温」の欄を作って取り組んでいる。
- 保護者も「ボイスシャワー」という言葉を知っていて、家庭でもよさを見つけて声を掛けている。
- (久我教授)

①聞く価値のある話をしているか。②作業課題があるか。

この二つが無いと集中力がもたなくなる。聞かなくなる。

袋井あやぐも学園心づくり部 <実践例>

社会の一員として、  
静と温を身に付けた生徒



- 資料を渡すとき「ありがとう」という言葉があり、温かさ

感じる。

- 西小っこしぐさというものがあり、立ち振る舞いの模範などを意識して生活している。

心づくり部では、左図の<実践例>の様に具体例が示され、**15歳の出口に向けて段階的に成長の場が設定されている**ことが分かります。他にも「ボイスシャワー集」などもあり、**実践的なカリキュラム**となっています。ぜひ御覧になり、実践に生かしていきましょう

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「ホームページ 学園情報」を御覧ください。

